



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 304 号

(創刊 1988.12.14)

2015.01.11.

新年のご挨拶

連協の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年暮れには、安倍首相の全く勝手で無意味な衆議院解散に私達国民は翻弄されました。自分の任期を延長し、憲法改正を視野に入れていることは明白です。そして又、小選挙区制の魔法で「たった 17%」の支持に過ぎないのに結果として「2/3 の議席」を与えてしまったのです。我々が選択した結果と受け止めなければなりません。冷静に「正しい日本」の方向に国民全員で責任を果たせねばなりません。

今年は 1 月早々、土地収用法に基づく事業認定申請に対する公聴会が別掲のように戸塚公会堂で **1 月 30 日と 31 日**の 2 日間開催されます。また 2 月 1 日には上郷公田線の公聴会もあーすぷらざで開催されます。「国のためにあなたの土地を取り上げるが言いたいことがあるか」、という儀式です。

また 4 回目の事業評価が今年度中にあります。そのため事業者は既成事実づくりに各地で手を付け始めています。オリンピックで世論を味方の付け 3 環状は強引に「今の内」とばかりに焦っているのです。少子高齢化時代の 1,000 兆円を超える財政難を迎え老朽化インフラ整備に毎年 8 兆円も必要とされる今日、「住民の理解を得ることが不可欠である」との同委員会の付帯意見に背くもので全く許せません。高度成長期の遺物であるこの計画は住民の意見の反映がなく、若年労働力不足で構造問題を抱える成熟国家であるこれからの日本には早急に見直すべき最たる事業です。

「ここまで工事が進んでいるではないか。」と諦めてはなりません。林市長は新年の「広報よこはま」で「防災に寄与する横環南などの都市基盤整備もしっかりと進めます」と言いました。しかし市長はこの横環南が横浜市のインフラ幹線と大変危険な状態にあることを知らされていないまま発言しているのです。

我々は南線が市民にとって大変危険な道路であることを示す情報を得たので、本年はこの問題を追及していくべく現在準備を進めています。

最後には皆さんの声の大きさ＝世論を見て彼らは諦めます。岡山でも計画の見直し、名古屋でも計画の撤廃が続いています。今年もともに頑張りましょう。(会長 比留間 哲生)

対外活動報告

- 12/10 横環南線公聴会公述申出書提出
- 12/09 事業者との質問・回答会議(於いて: 庄戸中コミュニティ)
- 12/09 東九州自動車道岡本ミカン農園の工事差止め等署名簿(福岡県知事宛)送付
- 12/19 横浜市情報公開室(返却)
- 12/22 打合せ(大船)まさのあつこ
- 01/06 水道局訪問(戸塚)
- 01/08 上郷公田線公聴会公述申出書提出

横環南線及び上郷公田線の用地強制収用に関する公聴会が開催されます。

【横環南線の公聴会】

- 場所: 戸塚公会堂
- 日時: 以下の 4 回
 - A. 1 月 30 日(金) 13:30~17:15
 - B. 1 月 30 日(金) 17:35~20:00
 - C. 1 月 31 日(土) 10:15~12:00
 - D. 1 月 31 日(土) 12:45~17:15

連協から会長以下 10 名が選出され、強制収用反対に向けて公述します。

【上郷公田線の公聴会】

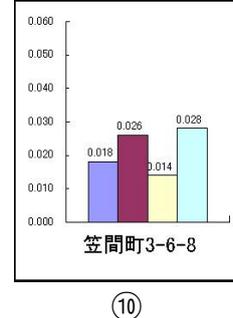
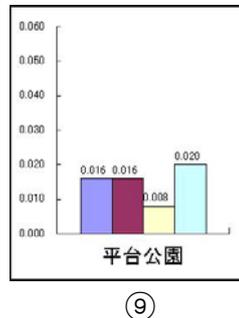
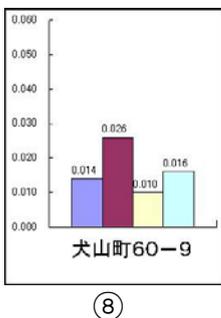
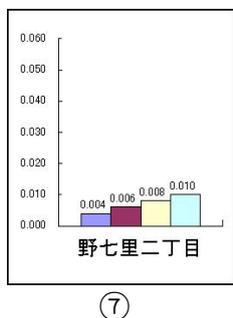
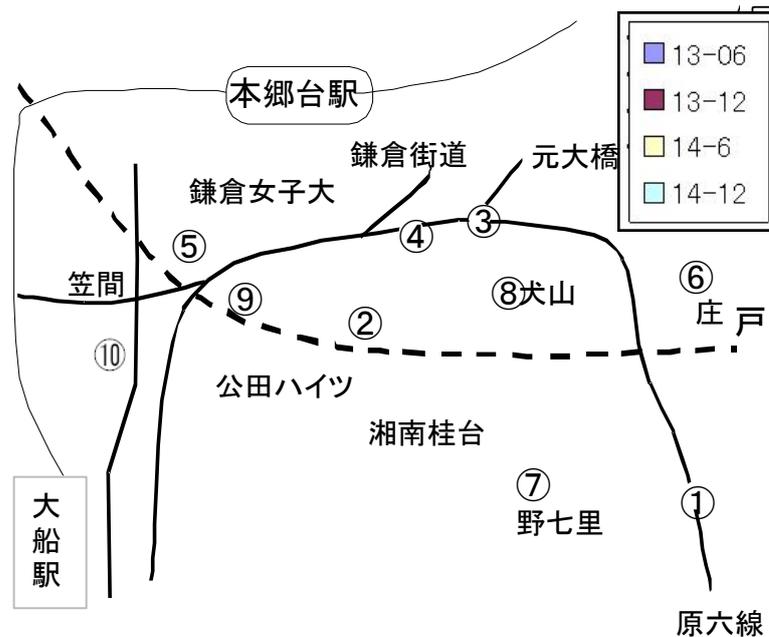
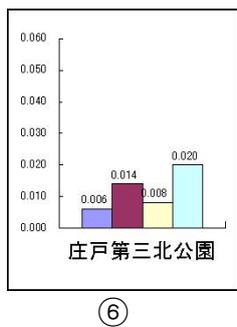
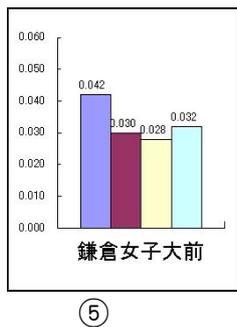
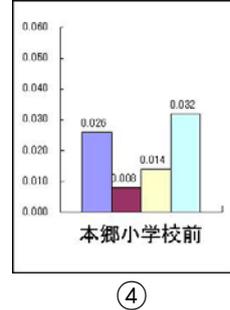
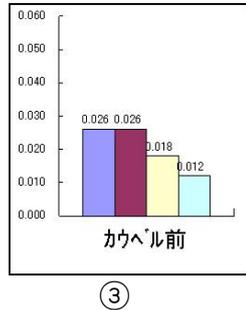
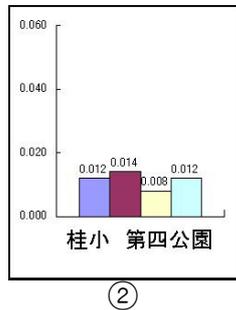
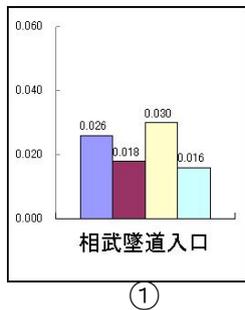
- 場所: あーすぷらざホール(本郷台駅前)
- 日時: 2 月 1 日(日) 10 時 20 分~17 時頃)

連協では 7 名が「強制収用反対」の公述申出書を出しました。後日決定します。

是非、公聴会に参加して強制収用反対の意思表示をしましょう。

平成26年12月期のNO₂定点測定結果まとまる

連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所50箇所に 二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は雨後晴れ強めの風の中での測定でした。以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフをしめします。



二酸化窒素測定作業

試薬及び試薬付きろ紙は有限会社筑波総研より取り寄せております。カプセルの準備(木)。カプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙と共に各団体に分けます。測定(木→金)。各団体は担当の各ポイントにその番号のカプセルを24時間設置した後回収します。分析(土)。カプセルに試薬を加えると、ろ紙が吸収した二酸化窒素と反応して赤紫色に着色します。その濃度をエコアナライザーNoxで測定します。ppmでデジタル表示されます。